



原子力発電所の安全確保に 万全を期します

「福島第一原子力発電所のような事故は決して起こさない」という
固い決意のもと、原子力発電所の安全性向上に向けて取り組んでいます。
その結果、「世界でも最も厳しい水準にある新規規制基準」に適合し、
安全対策の有効性が確認されました。

(原子炉設置変更許可:川内原子力発電所2014年9月、玄海原子力発電所2017年1月)

原子力発電所では重大事故を防ぐため、5つの各段階に応じた多様な安全対策を実施しています。

1 異常の発生を防ぎます

地震や津波、竜巻などの大規模な
自然災害に対する備えを強化しました。

2 異常の拡大を防ぎます

重大事故の防止に必要な電力を確保するため、
多種多様な発電機を新たに配備しました。

3 燃料の損傷を防ぎます

燃料の冷却を確実に実施するため、
多種多様なポンプを新たに配備しました。

4 格納容器の破損を防ぎます

格納容器の冷却手段の多様化、
水素濃度の低減対策を行いました。

5 放射性物質の放出 及び拡散を抑えます

放射性物質の放出、拡散を抑えるため、
放水砲や水中カーテンを配備しました。

【玄海原子力発電所の安全対策(概要)】

